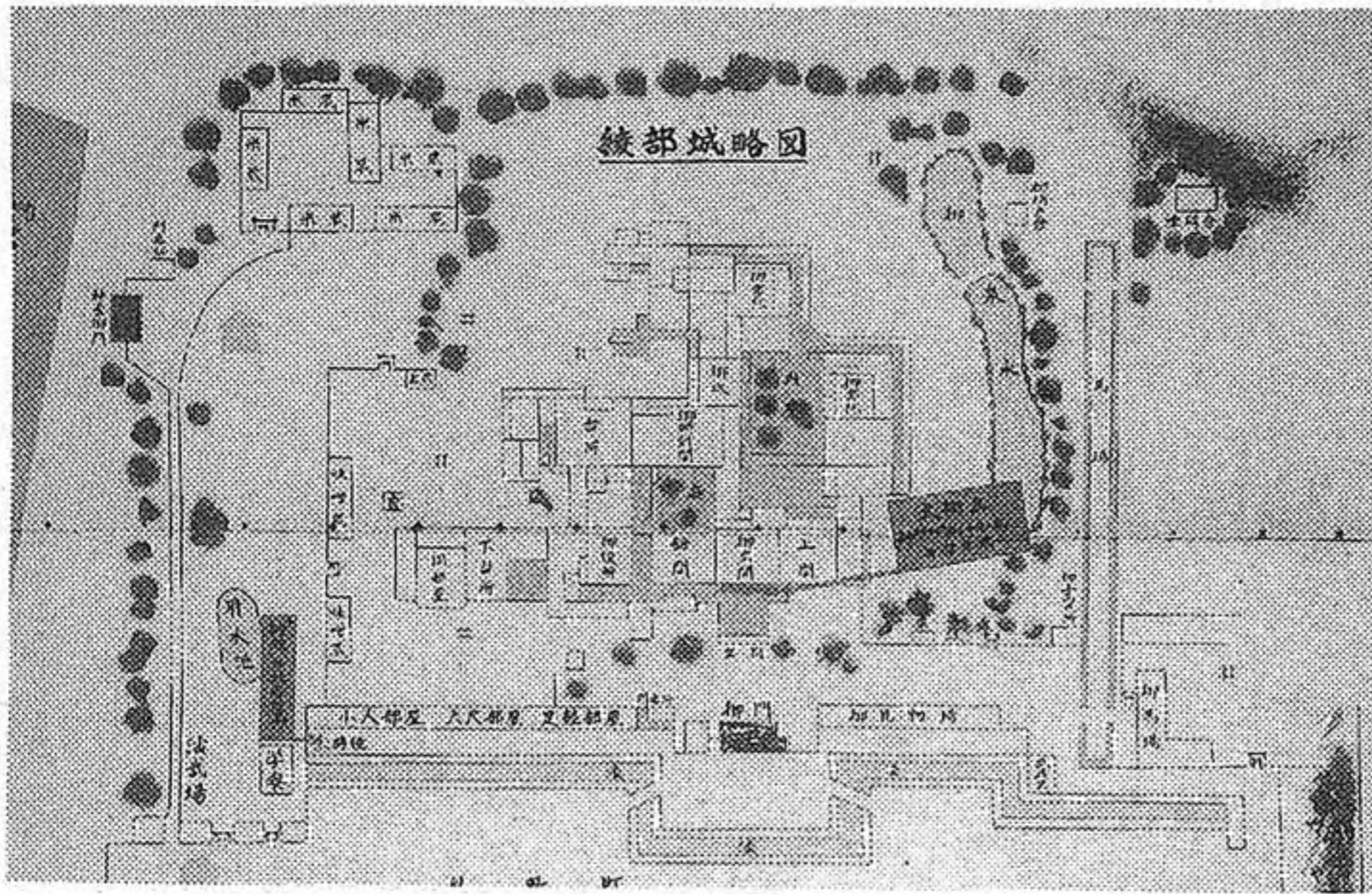


ふるさとと探訪

〔6〕



綾部城の城郭の見取図。初代藩主・九鬼隆季に仕えた越賀隼人もかつてこの中で執務をしたことであろう

昨年、三重県志摩町から一人の男性が九鬼会綾部支部長の浅田次男さん(69)に上野町に宅を訪れた。かつて「越賀隼人(こしがはやと)」という人物が綾部にいたかどうか確認した

興味を持った浅田さんはコピーをとらせてもらい、漢文で書かれたその内容を和文に直しながら読み解いていった。すると、越賀家と九鬼家の関係などこれまで分からなかった次のような

九鬼家家臣の越賀家

いのだという。

元は有力な「海賊衆」

出身地・志摩の古文書で判明

自らも分割され綾部へ

越賀隼人について浅田さんが知っているのは、綾部藩初代藩主・九鬼隆季の重臣の一人として鳥羽から移り住み、隆季の片腕として藩政に携わった人物ということぐらい。詳しい知識は皆無に等しかった。

事実が新たに判明した。

しかし、隆季は敗訴。九鬼家は鳥羽の地から離さ

越賀家の出身地・志摩町から綾部にはるばるやってきた男性は「今でさえ京都から一時間以上もかかるこ

さんはいこう語る。

朝鮮出兵で九鬼水軍の一員として参加しながら、いち早く日本に逃げ帰った武士の子孫の中には、今もなお「九鬼家に顔向け出来ない」と話す人がいるという。

志摩町の歴史を調べているというその男性は、一冊の古文書を携えていた。それは地元のと寺が所蔵する越賀家に関するものだった。

と、常に六十人余りの兵力を持つ藩主であった。しかし、九鬼嘉隆の勢力に屈して和解。それ以後、九鬼家

六兵衛隆次が三田へと分割

まで太平洋の大海原を目的

当たり前にしていた所から一変し、切り一面山ばかりの風景に接した時、越賀隼人がもった印象はどうだったであろうか。

(細見)

また、古文書の中には、文禄元年(一五九二)に豊臣秀吉が朝鮮出兵した時、越賀家の兵力も加えた九鬼水軍の活躍ぶりが細かく記載されている。「この出兵は侵略戦争で、実際は勝てずに撤退したのに、いいことばかり書いてあり、心苦しい」。自らの戦争体験と照らし合わせながら、浅田

また、古文書の中には、文禄元年(一五九二)に豊臣秀吉が朝鮮出兵した時、越賀家の兵力も加えた九鬼水軍の活躍ぶりが細かく記載されている。「この出兵は侵略戦争で、実際は勝てずに撤退したのに、いいことばかり書いてあり、心苦しい」。自らの戦争体験と照らし合わせながら、浅田

また、古文書の中には、文禄元年(一五九二)に豊臣秀吉が朝鮮出兵した時、越賀家の兵力も加えた九鬼水軍の活躍ぶりが細かく記載されている。「この出兵は侵略戦争で、実際は勝てずに撤退したのに、いいことばかり書いてあり、心苦しい」。自らの戦争体験と照らし合わせながら、浅田

また、古文書の中には、文禄元年(一五九二)に豊臣秀吉が朝鮮出兵した時、越賀家の兵力も加えた九鬼水軍の活躍ぶりが細かく記載されている。「この出兵は侵略戦争で、実際は勝てずに撤退したのに、いいことばかり書いてあり、心苦しい」。自らの戦争体験と照らし合わせながら、浅田

また、古文書の中には、文禄元年(一五九二)に豊臣秀吉が朝鮮出兵した時、越賀家の兵力も加えた九鬼水軍の活躍ぶりが細かく記載されている。「この出兵は侵略戦争で、実際は勝てずに撤退したのに、いいことばかり書いてあり、心苦しい」。自らの戦争体験と照らし合わせながら、浅田

また、古文書の中には、文禄元年(一五九二)に豊臣秀吉が朝鮮出兵した時、越賀家の兵力も加えた九鬼水軍の活躍ぶりが細かく記載されている。「この出兵は侵略戦争で、実際は勝てずに撤退したのに、いいことばかり書いてあり、心苦しい」。自らの戦争体験と照らし合わせながら、浅田

また、古文書の中には、文禄元年(一五九二)に豊臣秀吉が朝鮮出兵した時、越賀家の兵力も加えた九鬼水軍の活躍ぶりが細かく記載されている。「この出兵は侵略戦争で、実際は勝てずに撤退したのに、いいことばかり書いてあり、心苦しい」。自らの戦争体験と照らし合わせながら、浅田

また、古文書の中には、文禄元年(一五九二)に豊臣秀吉が朝鮮出兵した時、越賀家の兵力も加えた九鬼水軍の活躍ぶりが細かく記載されている。「この出兵は侵略戦争で、実際は勝てずに撤退したのに、いいことばかり書いてあり、心苦しい」。自らの戦争体験と照らし合わせながら、浅田

また、古文書の中には、文禄元年(一五九二)に豊臣秀吉が朝鮮出兵した時、越賀家の兵力も加えた九鬼水軍の活躍ぶりが細かく記載されている。「この出兵は侵略戦争で、実際は勝てずに撤退したのに、いいことばかり書いてあり、心苦しい」。自らの戦争体験と照らし合わせながら、浅田

また、古文書の中には、文禄元年(一五九二)に豊臣秀吉が朝鮮出兵した時、越賀家の兵力も加えた九鬼水軍の活躍ぶりが細かく記載されている。「この出兵は侵略戦争で、実際は勝てずに撤退したのに、いいことばかり書いてあり、心苦しい」。自らの戦争体験と照らし合わせながら、浅田

また、古文書の中には、文禄元年(一五九二)に豊臣秀吉が朝鮮出兵した時、越賀家の兵力も加えた九鬼水軍の活躍ぶりが細かく記載されている。「この出兵は侵略戦争で、実際は勝てずに撤退したのに、いいことばかり書いてあり、心苦しい」。自らの戦争体験と照らし合わせながら、浅田

また、古文書の中には、文禄元年(一五九二)に豊臣秀吉が朝鮮出兵した時、越賀家の兵力も加えた九鬼水軍の活躍ぶりが細かく記載されている。「この出兵は侵略戦争で、実際は勝てずに撤退したのに、いいことばかり書いてあり、心苦しい」。自らの戦争体験と照らし合わせながら、浅田

また、古文書の中には、文禄元年(一五九二)に豊臣秀吉が朝鮮出兵した時、越賀家の兵力も加えた九鬼水軍の活躍ぶりが細かく記載されている。「この出兵は侵略戦争で、実際は勝てずに撤退したのに、いいことばかり書いてあり、心苦しい」。自らの戦争体験と照らし合わせながら、浅田

また、古文書の中には、文禄元年(一五九二)に豊臣秀吉が朝鮮出兵した時、越賀家の兵力も加えた九鬼水軍の活躍ぶりが細かく記載されている。「この出兵は侵略戦争で、実際は勝てずに撤退したのに、いいことばかり書いてあり、心苦しい」。自らの戦争体験と照らし合わせながら、浅田

また、古文書の中には、文禄元年(一五九二)に豊臣秀吉が朝鮮出兵した時、越賀家の兵力も加えた九鬼水軍の活躍ぶりが細かく記載されている。「この出兵は侵略戦争で、実際は勝てずに撤退したのに、いいことばかり書いてあり、心苦しい」。自らの戦争体験と照らし合わせながら、浅田

また、古文書の中には、文禄元年(一五九二)に豊臣秀吉が朝鮮出兵した時、越賀家の兵力も加えた九鬼水軍の活躍ぶりが細かく記載されている。「この出兵は侵略戦争で、実際は勝てずに撤退したのに、いいことばかり書いてあり、心苦しい」。自らの戦争体験と照らし合わせながら、浅田

また、古文書の中には、文禄元年(一五九二)に豊臣秀吉が朝鮮出兵した時、越賀家の兵力も加えた九鬼水軍の活躍ぶりが細かく記載されている。「この出兵は侵略戦争で、実際は勝てずに撤退したのに、いいことばかり書いてあり、心苦しい」。自らの戦争体験と照らし合わせながら、浅田

また、古文書の中には、文禄元年(一五九二)に豊臣秀吉が朝鮮出兵した時、越賀家の兵力も加えた九鬼水軍の活躍ぶりが細かく記載されている。「この出兵は侵略戦争で、実際は勝てずに撤退したのに、いいことばかり書いてあり、心苦しい」。自らの戦争体験と照らし合わせながら、浅田

また、古文書の中には、文禄元年(一五九二)に豊臣秀吉が朝鮮出兵した時、越賀家の兵力も加えた九鬼水軍の活躍ぶりが細かく記載されている。「この出兵は侵略戦争で、実際は勝てずに撤退したのに、いいことばかり書いてあり、心苦しい」。自らの戦争体験と照らし合わせながら、浅田

また、古文書の中には、文禄元年(一五九二)に豊臣秀吉が朝鮮出兵した時、越賀家の兵力も加えた九鬼水軍の活躍ぶりが細かく記載されている。「この出兵は侵略戦争で、実際は勝てずに撤退したのに、いいことばかり書いてあり、心苦しい」。自らの戦争体験と照らし合わせながら、浅田

また、古文書の中には、文禄元年(一五九二)に豊臣秀吉が朝鮮出兵した時、越賀家の兵力も加えた九鬼水軍の活躍ぶりが細かく記載されている。「この出兵は侵略戦争で、実際は勝てずに撤退したのに、いいことばかり書いてあり、心苦しい」。自らの戦争体験と照らし合わせながら、浅田